

2014年3月12日
牛乳石鹼共進社株式会社

牛乳石鹼共進社 新社長就任のお知らせ

牛乳石鹼共進社株式会社（本社：大阪市城東区）は、2014年4月1日付で、牛乳石鹼共進社株式会社 代表取締役社長に、宮崎悌二が就任することを発表いたしました。宮崎は、創業105周年を迎える当社の5代目社長として、伝統と歴史ある牛乳石鹼共進社を率いてまいります。

牛乳石鹼共進社(株)に2006年12月入社以来、現代表取締役社長 宮崎仁之の下、社長室室長、取締役社長室室長、常務取締役社長室室長、取締役副社長を歴任。100年を超える企業の歴史と、発売から85年以上の歴史を持つ基幹商品『カウブランド赤箱』の変わらない製法、確かな技術を守りつつ、環境保全を両立させながら新商品開発や事業領域拡大を推進してまいりました。

新社長就任にあたり、第五次中期経営計画（3か年計画）を策定いたしました。初年度である本年4月からの3年間は、「思いやる気持を忘れず 未来の為に。」をキャッチフレーズとし、50年先、100年先の土台となる時期と捉え、経営の基礎や基本となる4本柱を掲げて持続可能な成長を推進してまいります。

- ① 情報の共有化を図り、生産性の向上に取り組む。
- ② 品質を追求し、化粧石鹼の市場を活性化させる。
- ③ 付加価値商品の育成と開発を行う。
- ④ 販売チャネルの開拓を行う。

日本経済は、アベノミクス効果や東京へのオリンピック招致の成功などにより、一時期の疲弊感を脱したようにも思われます。しかし、4月からの消費税増税や財政赤字、高齢化や少子化による人口構造の逆ピラミッド化など、数年先ですら見通しは明るくありません。こうしたことが、マーケットの縮小を招く事となると予想されますが、当社も時代の変化に対応すべく試行錯誤を繰り返し、企業、製品への「信頼」を培ってまいりたいと思っています。

『ずっと変わらぬ やさしさを。』という企業理念の元、社員一人一人の『やさしさ』が製品の『やさしさ』につながると信じ、お客様の肌に、こころに、そして環境にやさしい製品をつくり続けることを実践してまいります。

以上

■宮崎 悌二(みやざき ていじ) 略歴 38歳

学歴

1998年3月 慶應義塾大学総合政策学部 卒業

職歴

2006年12月 株式会社プラネット 退社
2006年12月 牛乳石鹸共進社株式会社 入社
2010年10月 牛乳石鹸共進社株式会社 社長室室長
2011年6月 牛乳石鹸共進社株式会社 取締役社長室室長
2012年6月 牛乳石鹸共進社株式会社 常務取締役社長室室長
2013年6月 牛乳石鹸共進社株式会社 取締役副社長
2014年4月 牛乳石鹸共進社株式会社 代表取締役社長



■牛乳石鹸共進社株式会社について

牛乳石鹸共進社株式会社は、1909年（明治42年）の創業以来、堅実なる経営方針のもと、品質第一主義にすぐれた化粧石鹸を製造販売してまいりました。第二次世界大戦前は中国を中心に広く海外へ市場をのぼし、その輸出実績は業界最高の記録を樹立し、COW BRANDの名声は内外共に多大なものとなりました。

1945年（昭和20年）、戦禍のため工場を全焼しましたが終戦と同時に復興させ合理的な大量生産体制のもと全国的に販売網を拡大しました。昭和38年（1963年）には、新工場建設、名実共にわが国最大の化粧石鹸メーカーとして発展、つねに製品の優秀さとシェアの強大さを誇っています。近年はボディケア、フェイスクケア、ヘアケアと幅広い製品開発によって、時代のニーズに即応し、伝統ブランド「牛乳石鹸」に加えて新ブランドをつぎつぎと生みだしてきました。2009年（平成21年）には創業100周年を迎え、『ずっと変わらぬやさしさを。』の理念のもと、お客様の肌に、こころに、そして環境にもやさしい、「ものづくり」に取り組んでいます。

<http://www.cow-soap.co.jp/web/>

■第五次中期経営計画キャッチフレーズ「思いやる気持ちを忘れず 未来の為に。」

身近な人に対して「思いやる気持ち」を持ちながら日々の業務に取り組むことで、お客様、お取引先様、仕入れ先様など、広範囲にわたるステークホルダーから信頼を得ることができると考えます。全従業員がお互いを思いやり、誰からも愛される、明るく健やかな企業であり続けたいと願っています。

－本件に関するお問合せ先－

牛乳石鹸共進社株式会社 担当：岡本一彦

TEL：06-6939-1457 FAX：06-6939-8011